

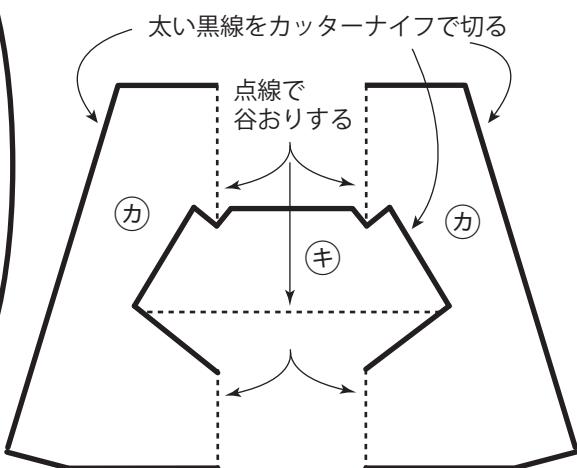
2026年カレンダー デスク用 厚紙に印刷 はさみ カッターナイフ 穴あけの道具 ポンドかのり わりピン 青色部分は端まで使う

毎日1回まわすことで今日を大切にできます

A 裏面

立てるときは、Ⓐの部分を谷おりして直角におこして、次にⒷの部分を谷おりしておこしてⒶが固定するようする。

立てる部分



吊り下げるときにつかう部品
机に立てるときは
いらない
組み立てが
終わったら
のりをつけて
AのⒶの
部分にはる

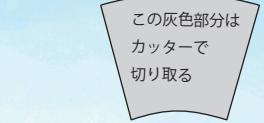


A 表面

Ⓐ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2026年
令和8年



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

うらに
のり

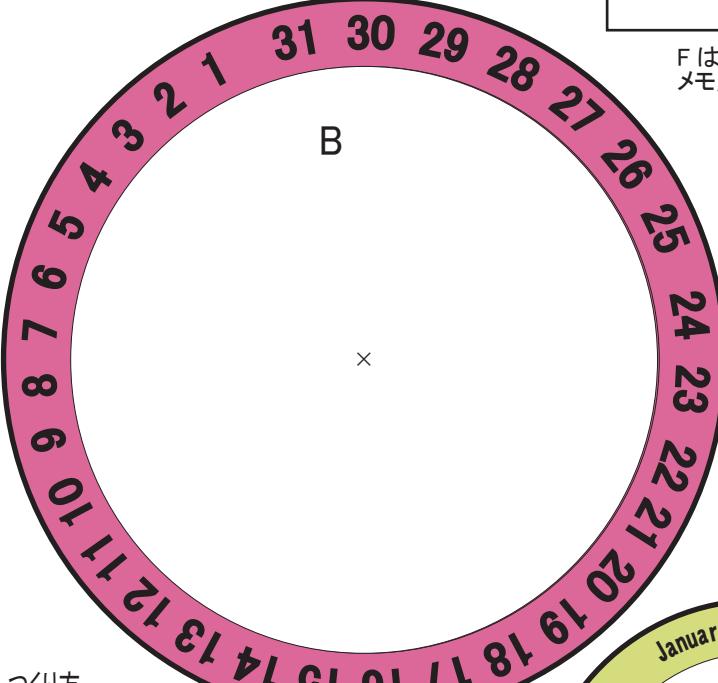
日	月	火	水	木	金	土
9	10	11	12	13	14	15
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

-----山おり
-----谷おり
印刷すると用紙の端まで線が印刷されないので切るときに気をつけてね
青色部分は端まで使う



うらに
のり

FはAの表の下Gにつけて
メモ用紙入れにする



つくり方

- ①A B C Dを切り取る
- ②Aの灰色部分をカッターナイフで切り取る
- ③Ⓐの表面に好きな絵やイラストを書き色をぬる
- ④Aの立てる部分の太い黒線をカッターナイフで切る
- 点線に折り目のすじをつける
- Ⓐを半分おり、Aの表 x から裏へ穴をあけておく
- B C Dの x に穴をあけ A→D→C→B→Aの裏の順でわりピンにさしていき、Aの裏でわりピンを広げる
- Aの表面のⒶとⒷの裏にのりをつけ山おりしてつける
- Aの表のⒷの部分の裏にのりをつけ山おりしてつける
- 立てる部分のおり線でおり広げて立つようにして完成

※かべに吊り下げるときは⑧をつくらずにEを使う

図① わりピンがないとき

つまようじや竹串を軸に使う
家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通す。

図② A表
カレンダー部品をA表→B→C→D→A裏の
順につまようじに通す。
最後に図②のようになつめの部品を
つまようじにさして、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。